

研究課題名「ハイブリッドオペ室におけるマルチモダリティロードマップの有用性」に関する

情報公開

1. 研究の対象

平成 28 年 04 月 01 日より平成 28 年 07 月 10 日までに EVAR、TEVAR、TAVI を行った患者で、マルチモダリティロードマップを使用した患者とする。

2. 研究目的・方法

近年、オペ室システムと常設型血管撮影装置を組み合わせた Hybrid OR の出現により、従来の血管撮影室では施行するのに困難であった症例や難易度の高い症例も、インターベンションの技術を用いて治療が行われている。

Hybrid OR で行われる手術の中で、EVAR、TEVAR、TAVI は、術前にダイナミック造影 CT 検査を施行されている事が多い。そのダイナミック造影 CT 検査画像を使用し、マルチモダリティロードマップとして臨床使用している。今回、臨床使用しているマルチモダリティロードマップ機能の有用性と精度について検証することを目的とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる試料・情報は、Hybrid OR にて臨床で通常運用されているマルチモダリティロードマップ画像、CT 画像、血管造影画像等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話：052-744-2111(内線 4071)

担当者の所属・氏名：医学部附属病院医療技術部放射線部門／主任診療放射線技師

植村 武司

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院医療技術部放射線部門 阿部 真治